

# みなとまち新潟 歴史探訪 49

問 歴史文化課

☎025-226-2583

## 「新潟」の登場

「新潟」という地名は太古の昔からあったわけではなく、今から500年前ごろに登場しました。高野山清浄心院こうやさんしやうじやうしんいんの記録によれば、永正17(1520)年に「新方(新潟)」の人が寺に供養を依頼しています。これが今のところ「新潟」という地名の最も古い記録です。

それでは新潟はどこにあったのでしょうか？魚沼市弘誓寺くぜいじの不動明王座像底部の墨書銘によると、この仏像は「越後国蒲原郡平嶋之郷新潟津」の不動院の本尊で、永禄9(1566)年に造られたとあります。不動院は現在も西堀通(中央区)に存在し、前出の記録では天文9(1540)年ごろから新潟の住民の供養の取り次ぎ役をしています。

「平嶋之郷新潟津」の「平島」という地名は、西川と信濃川の合流地点に今もあります。近くには焼やき鮎ふな(西区山田)や逆ダケさかさの藪やぶ(中央区鳥屋野)など、親鸞聖人しんらんしやうにん来訪の伝説の地もあります。つまりこの頃の新潟は、西区の平島付近にあった川湊かわみなとの町であったと考えられるのです。



戦国時代の新潟の位置



魚沼市弘誓寺不動明王座像墨書銘  
(渡辺康文氏撮影)弘誓寺所蔵

